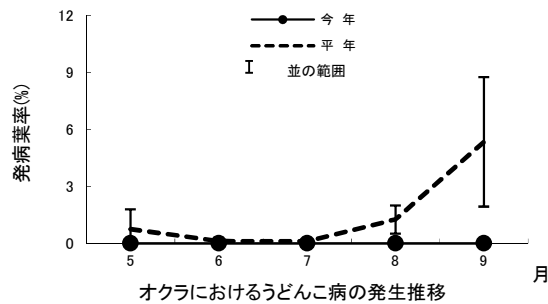


作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	① うどんこ病		
9月の発生量（現況）	(発生なし) やや少		
10月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	今後1カ月の降水量がほぼ平年並の見通しから、9月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）


- ・ 9月下旬の調査の結果、被害葉率は0%(前年0%、平年5.3%) と平年よりやや低かった。

(今年のデータ)



防除のポイント

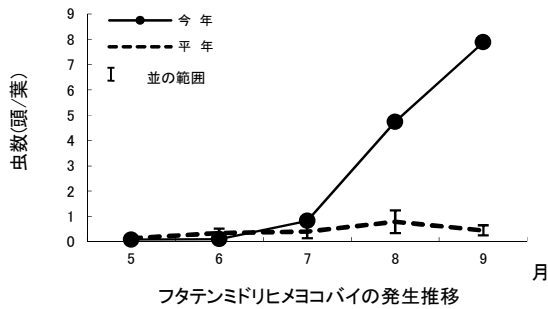
- ・ 不要な老葉・下葉を除去し、透光通風をよくする。
- ・ 発生源となるほ場及び周辺の除草を徹底する。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	② フタテンミドリヒメヨコバイ		
9月の発生量（現況）	多		
10月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	今後1カ月の気温が高い見通しから、9月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

- ・ 9月下旬の調査の結果、葉当たり成虫・幼虫数は7.9頭(前年1.2頭、 平年0.4頭) と平年より多かった。

(今年のデータ)



防除のポイント

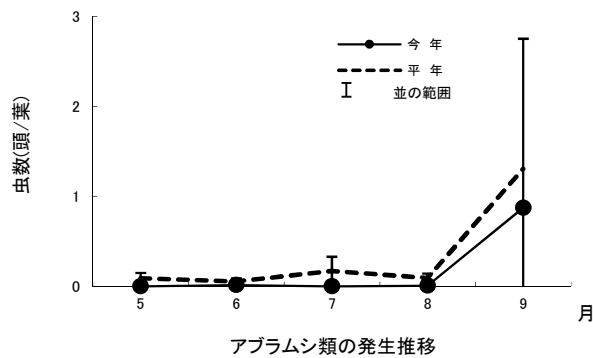
- ・ 多発すると吸汁加害により葉の萎縮や黄化が生じ生育が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・早期防除に努める。
- ・ 発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
9月の発生量(現況)	並		
10月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	今後1カ月の気温が高い見通しから、9月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)


- ・ 9月下旬の調査の結果、葉当たり成虫・幼虫数は0.9頭(前年1.6頭、平年1.3頭)と平年並であった。

(今年のデータ)



防除のポイント

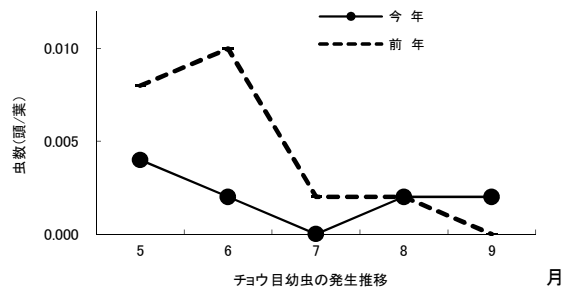
- ・ 多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生育が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・早期防除に努める。
- ・ 発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	チョウ目幼虫		
9月の発生量（現況）	判定不可		
10月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	今後1カ月の気温が高い見通しから、9月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

- ・ 9月下旬の調査の結果、葉当たり幼虫数は0.1頭未満(前年0頭)であった。発生種は、ワタノメイガであった。

(今年のデータ)



防除のポイント

- ・ 発生密度が低いときは、捕殺が有効である。
- ・ 老齢幼虫では薬剤効果が低下するので、若齢幼虫期のかすり状の被害を確認したら速やかに防除を行う。